

地域おこし協力隊通信 (No. 111) 就任あいさつ

はじめまして。4月1日より埼玉県から夫婦で中種子町地域おこし協力隊として着任しました。鈴木雅也・花奈です。今月号は私、花奈が協力隊通信を担当します。前職は看護師をしていました。そのため、役場経験もなければ、いわゆる「オフィス」の中で働いていたこともないので、これからの活動に少し緊張しています。

私のミッションですが、企画課の配属で、商工観光や移住促進について携わっていく予定です。地域のイベントにも参加予定ですので、よろしく願います。また、趣味で写真や動画制作を行っているので、その分野を活かせたらと思っています。地域おこし協力隊のインスタグラムや、中種子町のユーチューブに加えてノートで移住体験記の発信活動も行っていますので、ぜひチェックしてみてください。

先日、入居してすぐに初めての集落行事に参加しました。会場では方言が飛び交い、その活気に思わず驚かされました。耳慣れない言葉が行き交う中にも、地域ならではの温かさや結びつきが感じられ、この土地の文化に触れた実感が一層深まりました。方言の独特の響きには、地域の歴史や人柄が映し出されているようで、早く慣れたいと思い、少しずつ勉強中です。

また、引越してきてまず感じたのは、田

んぼが多く農業がとても盛んであることと、田植えも終わり、柔らかな緑色の苗がまっすぐに伸び始めています。日々変わっていく田んぼの景色を間近で見られるのが楽しみです。早速、大家さんやお店の方から収穫したばかりのブロッコリーなどを頂いたのですが、その新鮮さと甘みに驚きました。これからは、中種子町で育てられた農産物を積極的に選んで味わっていききたいと思っています。

移住した経緯を少し書かせていただきますと、私は5年前(おじーと結婚前)にも種子島の西之表市への移住経験があります。「サーフィンで有名な島」という情報しか知りませんでした。単身で移住を決意しました。(サーフィンが上手くなると意気込み移住しましたが、1度目の移住では思うようにサーフィンができずに終わってしまいました。・)初めての離島に少し戸惑いはありましたが、それを上回る暮らしやすさや人の温かさを実感し、種子島のことになりました。結婚を機に、地元埼玉へ戻ることになったのですが、1年間暮らした種子島のこと忘れられず、おじーを4年間説得し、ようやく2度目の移住をすることができました。おじーも過去に何度も種子島に来たことがあり、種子島のが大好きです。都会の喧騒を忘れられる自然豊かな種子島で、温かい人たちに囲まれ、新生活を始められたことに幸せを感じ

ています。夫婦で移住をするという決断は、決して容易いものではなかったけれど「人生一度きり」と思うと、何を選択するかは一目瞭然でした。

これからご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、協力隊として中種子町をより盛り上げられるよう精一杯頑張ります。どうぞよろしく願います。

鈴木 花奈

農林水産課のインスタグラムを新設しました。ぜひチェックしてみてください。



note



地域おこし
協力隊 Instagram



YouTube



農林水産課
Instagram

